

農家民泊でつながる

地域の絆

今年の夏も「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」では、

たくさんの教育旅行を受け入れました。

平成30年度ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 民泊受け入れ数

(平成30年8月末現在)

受入日	受入者	人数
5月9日(水)~10日(木)	台湾 高校生	30人
5月22日(火)~23日(水)	台湾 高校生	42人
6月1日(金)~2日(土)	台湾 学生	18人
7月3日(火)~4日(水)	各国の旅行会社の営業マン(大人)	10人
7月3日(火)~7日(土)	アメリカ 学生	39人
7月11日(水)~14日(土)	ベトナム 学生	13人
7月13日(金)~15日(日)	ベトナム 中高生	35人
7月19日(木)~20日(金)	台湾 学生	6人
7月27日(金)~28日(土)	台湾 高校生	17人
8月6日(月)~7日(火)	町内及び群馬県玉村町 小学生	20人

(今後の受け入れ予定)

受入日	受入者	人数
10月9日(火)~10日(水)	タイ 中学生	44人
10月10日(水)~11日(木)	タイ 中学生	25人
11月	インドネシア 学生	15人

7月11日(水)から14日(土)まで、ベトナムの学生を受け入れたときの模様を一部紹介します。

ベトナム 7月11日(水)~14日(土) 3泊4日

1 日目

・茨城町に到着 ・学校交流

青葉中学校の生徒と、英語を交えて交流。
一緒に学校給食を食べ、茶道や書道の体験をし、レクリエーションでは、じゃんけん列車や人数集めゲームなどで大変盛り上がりました。



2 日目

・いかだ乗り体験

全員でいかだ乗りに挑戦。手づくりのいかだで力強く瀬に漕ぎ出します。



3 日目

・農業体験

協議会で運営している農場で、ジャガイモやスイカの収穫体験を行いました。



・模擬あなば祭り体験

偶然にも同じ日に受け入れた別団体のベトナムの中高生と合同でお囃子を鑑賞。ベトナムの子どもたち同士で交流ができました。



・バーベキュー

瀬を眺めながら、シーフードバーベキューを堪能。



4 日目

・お別れセレモニー

民泊最終日。様々な体験と思い出を振り返り、笑顔で再会を誓いました。



農家民泊では、わずかな時間での交流でも、学生との間には固い絆が生まれます。受け入れ家庭にしか得られない感動や、やりがいがあるからこそ、何度も迎え入れているのです。

受け入れ家庭の皆さんからは「受け入れた学生さんは孫のようにかわいい。毎回、別れが惜しくなる。」「言葉が伝わらなくても、身振り手振りや笑顔で心が通じ合えたときの喜びが大きい。」「我が子の英語の勉強にもなるし、国際交流の良い機会になっている。」など、数多くの声が寄せられています。

受け入れ家庭を募集しています

受け入れ家庭になるには、農家でなくても可能であり、下石崎地区以外の家庭も大歓迎です。最低限、シャワーや洋式トイレがあれば、民泊受け入れの対応ができます。また、宿泊者用の布団をレンタルすることもできます。

受け入れ期間中の昼間は、基本的に、漁体験や農業体験を行いますので、各家庭での対応は、各日の夕食から宿泊、朝食頃までとなります。

受け入れ家庭を希望される方、また、民泊や農漁業等体験を見学したい方、民泊について詳しく知りたい方は、農業政策課までお問い合わせください。

【問合せ先】 農業政策課 ☎029-240-7118 (直通)

ひろうら田舎暮らし体験推進協議会ホームページ <http://hiroura.jp/>



アメリカの学生を受け入れた際、ある家庭では生け花体験を行いました。